



VNET USB RS232 INTERFACE

USB RS232 Interface for VNET

JP 安全にお使いいただくために



注意
感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイストロッキングプラグケーブル) を使用してください。

注意
火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意
このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意
取り扱いとお手入れの方法について

での重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

- 注意**
1. 取扱説明書を通してご覧ください。
 2. 取扱説明書を大切に保管してください。
 3. 警告に従ってください。
 4. 指示に従ってください。
 5. 本機を水の近くで使用しないでください。
 6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
 7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
 8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
 9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加え

てアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。
11. すべての装置の接地点 (アース) が確保されていることを確認して下さい。
12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。
13. 付属品は本機製造元が指定したものののみをお使いください。



カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した燭燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所にて廃棄してください。

21. 本装置は 45°C 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas, Klark Teknik, Lab Gruppen, Lake, Tannoy, Turbosound, TC Electronic, TC Helicon, Behringer, Bugera, Oberheim, Auratone, Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 Musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

重要な安全情報

注意深く読み、以下の指示と安全情報を保管してください。すべての警告に注意し、すべての指示に従ってください。

- カバーを外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。資格のあるサービス担当者にサービスを依頼してください。
- 製造元が指定したアタッチメント / アクセサリのみを使用してください。
- 液体がこぼれたり、物体が装置に落ちたり、装置が雨や湿気にさらされたり、正常に動作しなかったり、落下したりした場合など、装置が何らかの形で損傷した場合は、修理が必要です。

クイックスタート

- ドライバをインストールします
- USB または RS232 経由でコンピューターを接続します
- RS232 を使用している場合は電源を入れてください
- RJ45 ケーブルを介してデバイスを接続します

ありがとうございました

アプリケーションにこの製品をお選びいただき、ありがとうございます。このユニットから可能な限り最高のパフォーマンスを得ることができるように、このガイドの内容を検討するために少し時間を割いてください。

開梱

ユニットを開梱した後、損傷がないか注意深く確認してください。破損が見つかった場合は、すぐに当該運送業者にご連絡ください。荷受人であるあなたは、いかなる請求も届動しなければなりません。今後の再発送に備えて、すべてのパッケージを保管してください。

はじめに / 主な機能

この製品は、パーソナルコンピュータに VNET™ を搭載したデバイスのネットワークへの接続を提供し、それらを制御および監視できるようにします。VNET™ インターフェースは、USB またはシリアル (RS232) を介して接続できます。

VNET™ は、標準の Cat5 ケーブルを使用して、単純なケーブル方式を使用して互換性のあるデバイスを相互接続する高速ネットワークポートです。ネットワークの総スパンは、リピーターなしで少なくとも 1km になる可能性があります。この制限内では、単一スパンの最大長はありません。

便利で頑丈なスチールケースに収納されており、自立型で使用することも、ラックマウントキットを使用して、1U ラックスペースに最大 2 つの追加アクセサリ製品と一緒にラックに収納することもできます。

特徴:

- 頑丈なスチール製エンクロージャ
- 自立型またはラックマウント型のオプション
- 頑丈な Ethercon ネットワークコネクタ
- セルフパワー (USB を使用)
- 1km のネットワークケーブルを駆動可能
- 特別なケーブルはありません

コンピュータシステム要件

最小要件:

- Pentium プロセッサを搭載した PC
- 32 ビット Windows™ オペレーティングシステム (NT、2000、XP、Vista)
- CD-ROM ドライブまたはインターネットアクセス
- RS232 または USB ポート*

*RS232 を使用すると、ネットワークの動作が少し速くなるため、これが推奨される接続方法であることに注意してください。

ソフトウェアのインストール

コンピュータのシリアル (RS232) ポートで VNET™ インターフェイスのみを使用する場合は、ドライバをインストールする必要はありません。USB を使用する場合は、この製品の USB ドライバーをインストールする必要があります。

VNET™ インターフェイスの USB 接続を初めてコンピューターに接続すると、コンピューターに「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、そのドライバをインストールするように求められます。2つのドライバがインストールされます。1つは USB ポート自体用で、もう1つは仮想 Com ポート (VCP) 用です。これらのドライバは両方とも、「Windows ログテストに合格しなかった」と報告する場合があります。ご注意ください。「とにかく続行」を選択する必要があります。

ドライバソフトウェアが CD-ROM で提供されている場合は、これを CD-ROM ドライブに挿入します。または、ベンダーの Web サイトからドライバをダウンロード

Windows XP ドライバーのインストール

ドライバをインストールするには、次の手順に進んでください。

1. コンピューター (または USB ハブ) からインターフェイスの USB ポートに USB ケーブルを接続します。
2. 接続すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。
3. 「次へ」をクリックします。
4. 「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、「次へ」をクリックします。
5. 「場所を指定」を選択し、「次へ」をクリックします。「製造元のファイルのコピー元」に「D:」と入力します。「D:」は CD-ROM の場所です (または、Web サイトからドライバをダウンロードした場合は、ドライバをコピーした場所を参照します)。
6. Windows ドライバファイルは、デバイス「USB VNET™ インターフェイス」を検索します。
7. 「次へ」をクリックして続行します。
8. Windows はソフトウェアのインストールを終了しました。「完了」をクリックして、インストールの最初の部分を完了します。
9. 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が再び表示され、デバイス「USB VNET™ ポート」のインストールが完了します。
10. 手順 (4) から (8) を繰り返して、インストールを完了します。

COM ポート

PodWare アプリケーションは、COM ポートを使用して接続されたデバイスと通信します。コンピュータから VNET™ インターフェイスへの RS232 接続を使用する場合、COM ポートは、コンピュータが通常シリアル (RS232) ポートに使用するポートになります。通常は COM1 です。USB を使用してコンピューターから VNET™ インターフェイスに接続すると、ドライバソフトウェアによって「仮想 COM ポート」(VCP) が作成されます。これは PodWare には単なる別の COM ポートとして表示され、[ネットワーク]> [COM ポート]を使用して選択できます。VNET™ インターフェイスが使用している COM ポートを見つけるには、[スタート]> [コントロールパネル]> [システム]> [ハードウェア]> [デバイスマネージャ]> [ポート]を選択します。ここでは、「USB VNET™ ポート」というアイテムのエントリがツリーに表示されます。これに対して、COM ポート番号 (例: COM5) になります。これを別の COM ポート番号に変更する場合は、既存の COM ポートツリーノードを右クリックし、[プロパティ]> [ポート設定]> [詳細]を選択します。そこに、COM ポートセレクターが表示されます。すでに使用されている COM ポートに変更しないでください。

外部電源

外部 VNET™ アクセサリ電源からユニットに電力を供給するための準備が行われます。次の 2つの状況のいずれかでは、外部電源が必要です。

- PC への RS232 (シリアル) 接続を使用したい場合
- ネットワーク上のどこかに VNET™ ネットワークケーブル駆動のデバイスがある場合

USB が使用されていて、そのような VNET™ ケーブル駆動デバイスがない場合、外部電源は不要であり、インターフェイスはコンピューターの USB ポートから電力が供給されます。

コンピューターの接続

次の 2 つの方法のいずれかで、コンピューターを **VNET** インターフェイスに接続できます。

RS232

コンピューターにネイティブシリアル (RS-232) ポートがある場合は、図 1 に示すように、RS-232 延長ケーブル (ストレートのメスからオス) を使用して、これを **VNET™** インターフェイスの RS232 ソケットに接続するだけです。RS232 を使用する場合は、付属のアクセサリ電源製品から、電源に付属の 3.5 mm ジャックケーブルを介して **VNET™** インターフェイスに DC 電源を供給する必要があります。これにより、1 つまたは 2 つの互換性のあるアクセサリに電力を供給できます。これらは同一であるため、電源の A または B 出力のいずれかを使用できます。

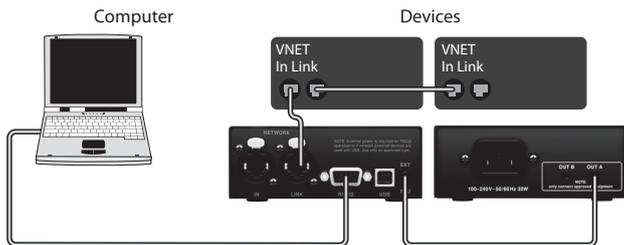


Diagram 1

USB

図 2 のように USB タイプ A-USB タイプ B ケーブルを使用して USB 経由で **VNET™** インターフェイスにコンピューターを接続できます。USB を使用する場合は、通常は電源を使用して **VNET™** インターフェイスに電力を供給する必要はありません。インターフェイスに十分な電力を供給します。ただし、ネットワーク上にネットワーク電源装置がある場合は、アクセサリ電源を使用する必要があります。

デバイスの接続

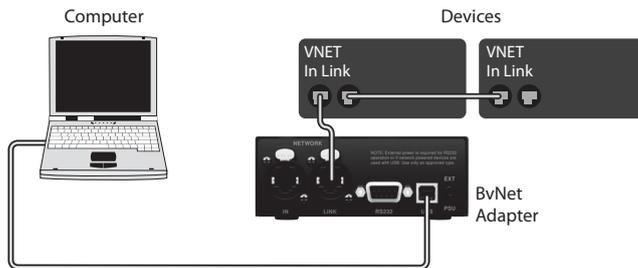


Diagram 2

VNET™ インターフェイスの **VNET™** リンクソケットを、制御する最初のデバイスの **VNET™** 入力ソケットに接続し、次にこのデバイスの **VNET™** リンクソケットを次のデバイスの **VNET™** 入力ソケットに接続します。デバイスが接続されている順序は重要ではありません。「チェーン」の最後のデバイスのリンクソケットを接続する必要はありません。**VNET™** インターフェイスの入力ソケットは特別なアプリケーションを対象としており、通常は接続されません。「Ethernet」ネットワークコネクタは、これらの接続に使用できる標準の RJ45 イーサネットパッチケーブルと完全に互換性があります。さらに頑丈さが必要な場合は、Neutrik Ethernet ロックタイプのコネクタを使用することをお勧めします。

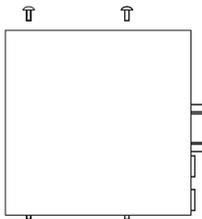
ラッキング

VNET™ インターフェースおよびアクセサリ電源は、自立型で使用できます。19 インチラックにマウントする場合は、VNET™ アクセサリラックマウントキットを使用できます。アクセサリを取り付けキットパネルに取り付けるには、次の手順に従います。

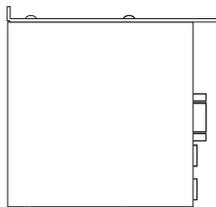
- 2つのナットを取り外して、アクセサリを取り付ける開口部を覆っている2つの取り付けブラケットとブランキングシートを取り外します。(これらとネジとワッシャーを保管してください)。
- アクセサリの片側から2本のネジを外します



- 2で取り外した2本のネジを使用して、1つの取り付けブラケットをアクセサリの側面に緩く取り付けます。「耳」を正面に向け、外側を向きます。

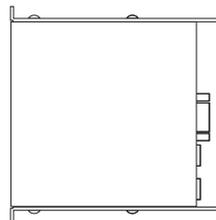


- 反対側についても2と3を繰り返します。次に、蓋をユニットの背面に向かって最後まで押してから、ブラケットの耳を蓋の前端に合わせます。

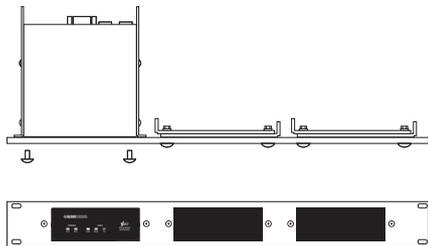


次にネジを締めます。

- 取り付けブラケットを上にしてアクセサリを提供する



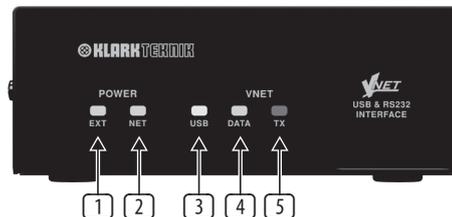
取り付けパネルの裏側に取り付け、1 で取り外した 2 セットのネジ、ワッシャー、ナットを使用して所定の位置に固定します。



ブラケットの後端の穴は、必要に応じてケーブルタイオフポイントとして使用できることに注意してください。

操作

VNET™ インターフェイスがコンピューターとデバイス（および該当する場合はオプションの VNET™ 電源）に接続されると、インターフェイス自体をさらに調整する必要はありません。ユニット前面のインジケータは次のように動作します



- ① ユニット背面の EXT 電源ソケットに DC 電源が供給されている場合、EXT 電源インジケータが点灯します。
- ② ユニットがネットワークに電力を供給しているとき、NET Power インジケータが点灯します。これは、ネットワーク電源のアクセサリに電力を供給したり、信号を送信したりするために使用されます。
- ③ ユニットがコンピューターとアクティブな USB 接続を行うと、USB インジケータが点灯します。
- ④ ネットワークからデータを受信すると、ネットデータインジケータが点灯します。
- ⑤ ユニットがネットワークにデータを送信しているとき、ネット TX インジケータが点灯します。

トラブルシューティング

EXT 電源インジケータが点灯しない

RS232 経由で操作している場合は、アクセサリ電源を使用する必要があります。これが正しく接続されていることを確認してください。電源装置の電源インジケータが点灯するかどうかを確認します。USB 経由で操作している場合（およびネットワーク上にネットワーク電源デバイスがない場合）、通常は外部電源を使用する必要はありません。その場合、このインジケータは点灯しません。

USB インジケータが点灯しない

USB ケーブルが両端に差し込まれていることを確認してください。USB ハブを使用している場合は、十分な電力を供給できることを確認してください。パワードハブの使用が必要になる場合があります。ドライバはインストールされていますか？ USB ケーブルを抜いてから、もう一度差し込んでみてください。RS232 を使用している場合、このインジケータは点灯しません。

USB デバイスの COM ポートが見つかりません

ドライバはインストールされていますか？ USB ケーブルが両端に差し込まれていますか？ USB インジケータは点灯しますか？（上記を確認してください）。

PodWare はデバイスを検出しません

PodWare で正しい COM ポートを選択しましたか？適切なインジケータが点灯していますか？（上記を参照）。

ネットワークケーブルが長すぎず、正しく接続されていて、損傷していないことを確認してください。PodWare がオンラインになろうとしたときに Tx インジケータが点滅することを確認します。

RS232 経由では動作しません

PodWare で正しい COM ポートを選択しましたか？ RS232 経由で操作する場合は、アクセサリ電源を使用する必要があります。

技術仕様

USB 通信

コンプライアンス	1.1 および 2.0
電力記述子	150 mA
コネクタ	タイプ B

シリアル通信

コンプライアンス	EIA RS232C
コネクタ	メス 9 ピン「D」（完全配線）

VNET™

ケーブルタイプカテゴリ	5 UTP（またはそれ以上）
最大 ケーブルの全長	1 キロ
最大 ネットワークスパン	1 キロ
コネクタ	標準の RJ45（または頑丈な Neutrik® Ethercon）

外部電源

3.5 mm ジャック ツー ジャック リード を介して Klark Teknik VNet アクセサリ電源からのみ提供されます。

消費電力

USB 電源	最大 750 mW
外部電源	最大 3 W

環境

温度	0 ~ +45°C
湿度	0 ~ 80% RH（結露しないこと）

物理的

寸法	45 x 117 x 121 mm (1.8 x 4.6 x 4.8")
重量	0.5 kg (1.0 ポンド)

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択: ユニットのパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにならないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

